

「宮城県行財政運営・改革方針(第1期)」に基づく取組の令和3年度実施状況
(令和3年12月末時点)

1 財政基盤と組織体制の強化

(1) 財政基盤の強化

「みやぎ財政運営戦略(第3期)」の推進		別冊 P1
● 財政健全化と持続可能な財政運営 <p>みやぎ財政運営戦略(第3期)に基づく歳入確保・歳出抑制対策を進めています。令和2年度決算において、実質公債費比率は12.0%、将来負担比率は159.1%と前年度を下回る水準となり、健全化にむけた取組の成果が確実に現れています。</p>		
【参考URL又は参考資料】	令和2年度普通会計決算	
	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zaisei/futsuukaikeikessan.html	
● 富県躍進に向けた予算の重点配分 <p>令和4年度に向けては、既存事業へのマイナスシーリング等により財源を確保した上で、令和4年度政策財政運営の基本方針及び一般会計当初予算のフレームを公表しました。 「新・宮城の将来ビジョン」に掲げる施策を重点的に推進できるよう、来年度当初予算の編成を進めています。</p>		
【参考URL又は参考資料】	令和4年度予算	
	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zaisei/sub-yosan.html	

関連する取組

● ふるさと納税の利便性の向上 <p>「ふるさと宮城寄附金」(ふるさと納税)の利便性をより一層高めるため、ふるさと納税ポータルサイトを1者追加して2者としたほか、特産品贈呈対象寄附金額を一口2万円から5千円に引き下げ、より寄付しやすい環境を整備しました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	宮城県への「ふるさと納税」がさらに便利になりました！(記者発表資料)	
	https://www.pref.miyagi.jp/documents/35868/pressrelease.pdf	
● 企業版ふるさと納税制度を活用した温暖化対策事業の推進 <p>海岸防災林の管理や海中林の造成など、森林・海洋資源による地球温暖化対策を推進するため、企業版ふるさと納税制度を活用し、企業様からの寄附により事業を実施しました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)【県事業】について	
	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/tihouseisei-ouenzeisei.html	

県税の徴収対策

別冊 P2

● 市町村滞納整理協働支援チーム及び宮城県地方税滞納整理機構による徴収支援 <p>県税職員が市町村職員の身分を併せ持つ職員併任による滞納整理や、県と市町村による共同催告、共同徴収など、市町村の実情に応じた徴収支援のほか、宮城県地方税滞納整理機構による、市町村税務職員の人材育成のための研修や徴収支援を実施しました。また、県税事務所では財産調査の電子的照会を実施しました。</p>		
--	--	--

関連する取組

● スマートフォン決済の導入による納税の利便性の向上 <p>県税の納付方法について、令和3年度から、スマートフォン決済を導入し、自動車税種別割をはじめ、個人事業税、不動産取得税等の納付書で納付いただく税目は、金融機関の窓口等に出向くことなく、時間を気にせず、ご自宅等で納税できる環境を整備しました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	自動車税種別割の納税及びスマートフォン決済の導入について(記者発表資料)	
	https://www.pref.miyagi.jp/documents/636/852339_1.pdf	

県有資産を活用した歳入確保		別冊 P3
<p>●未利用となっている土地の売却と県有資産を活用した広告事業の推進</p> <p>未利用となっている土地について、一般競争入札や宅地建物取引業者の媒介による売却を行いました。また、県有施設の命名権の売却や印刷物への広告掲載など県有資産を活用した広告事業を推進しました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	県有財産一般競争入札のご案内	
	https://www.pref.miyagi.jp/site/zairi/f-24-02.html	
	宮城県広告事業の御案内	
	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kanzai/koukoku-top.html	

公社等外郭団体の自立的運営の促進		別冊 P5
<p>●「宮城県公社等外郭団体自立推進計画(素案)」を作成</p> <p>令和4年度から令和6年度までの3か年を計画期間とした公社等外郭団体改革の基本計画の策定を進めています。計画の策定にあたり、県民の皆様の御意見を募集するため、「宮城県公社等外郭団体自立推進計画(素案)」を作成し、パブリックコメントを実施しました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	「宮城県公社等外郭団体自立推進計画(素案)」に対するパブリックコメントの結果について	
	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gyokei/kousya-pabukomekekka.html	

(2) 組織体制の整備

効率的かつ効果的な組織の再編		別冊 P6
<p>●新たな諸課題に対応できる組織改編の実施</p> <p>事前防災から初動、中長期、伝承まで一環して対応するため「復興・危機管理部」を新設しました。また、行政デジタル化などの推進を目的として、企画部に「デジタルみやぎ推進課」を新設したほか、総務事務の集約に向けた検討を進めるなど、さらなる行政事務の効率化を進めています。</p>		
【参考URL又は参考資料】	県の行政機構図・事務分掌・組織改正の概要	
	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zinzi/zinzi-sosiki.html	

採用困難となっている職種の確保		別冊 P7
<p>●宮城県獣医職紹介動画の県ホームページへの掲載</p> <p>宮城県獣医の仕事、先輩獣医師の声、採用試験の情報などを動画にまとめ、県獣医職募集案内のページ(家畜防疫対策室「宮城県の獣医職職員として宮城の未来に挑戦してみませんか? (獣医職募集)」)に掲載しました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	宮城県の獣医職職員として宮城の未来に挑戦してみませんか? (獣医職募集)	
	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/boueki/vet-saiyo.html	

関連する取組

<p>●船舶職員の確保対策</p> <p>水産林政総務課のホームページ内に、水産林政部が所管する船舶の案内として、職種や業務内容、給与の処遇改善について紹介するとともに、応募者がより業務内容をイメージしやすいよう、先輩職員からのインタビュー記事を掲載するなど応募者確保対策に取り組みました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	船舶職員の募集案内(職種・業務内容・給与の処遇改善)	
	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/suirinsom/senin.html	
	船舶職員の募集案内(先輩職員の声)	
	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/suirinsom/senin-senpai.html	

(3) 多様な主体との連携

民間の創意工夫を活かせる制度の活用

別冊 P8

関連する取組

●上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)の推進

PFI事業であるコンセッション方式を活用し、県が水道事業者としての最終責任を持ち、公共サービスとしての信頼性を確保しながら、民間の力を最大限に活用することにより、料金上昇の抑制や経営基盤の強化を図る「みやぎ型管理運営方式」の導入を推進するため、事業説明会の開催や水道法の許可申請等に取り組みました。

【参考URL又は参考資料】

みやぎ型管理運営方式構築に向けて

<https://www.pref.miyagi.jp/site/miyagigata/index.html>

NPO、民間企業・大学等との協働・連携の推進

別冊 P9

関連する取組

●「みやぎグリーンコーストプロジェクト」始動

震災被害から再生された海岸防災林が人々に親しまれ、適切に維持されていくように、若い世代を取込み、将来にわたって海岸防災林内での活動を行ってもらうため「みやぎグリーンコーストプロジェクト」と称して、NPO及び民間団体と連携しバスツアー、研修会等を開催しました。

【参考URL又は参考資料】

「みやぎグリーンコーストプロジェクト」始動

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sinrin/greencoastproject.html>

横断的連携、地域連携の推進

別冊 P11

●第13次宮城県鳥獣保護管理事業計画(案)及び第二種特定鳥獣管理計画(案)の作成

鳥獣保護区や野生鳥獣の捕獲許可、鳥獣保護思想の普及啓発等、県全体の鳥獣保護管理事業を定める鳥獣保護管理事業計画(案)とニホンザル、ツキノワグマ、イノシシ及びニホンジカの管理計画を定める第二種特定鳥獣管理計画の次期(令和4年度～令和8年度)計画案を作成しました。

関連する取組

●「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催

新型コロナウイルス感染症の世界規模での感染拡大による厳しい状況下ではありましたが、国、大会組織委員会、市町村等と連携し、聖火リレーや都市ボランティア活動、事前合宿、大会会場周辺イベントを始めとする各種イベント等を通して、世界に向けて東日本大震災からの復興状況の発信をするとともに、復興支援への感謝を伝えることができました。

●「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」の開催

令和3年10月3日(日曜日)、石巻市において「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」を開催しました。本大会を通して、東日本大震災の際に全国からいただいた数多くの御支援への感謝の想い、豊かな海を育む山、森、河川の強いつながりや環境保全の大切さ、本県水産業の明るい未来を全国に発信することができました。

2 ICT活用と働き方改革の推進

(1) ICT利活用による効率的な行政サービスの推進

最適化による県民サービスの向上		別冊 P12
<p>●オンライン化の推進</p> <p>令和3年度から令和6年度までの4か年を計画期間とした「みやぎ情報化推進ポリシー」を策定し、県民サービスの向上などを重点目標に掲げ、取組を進めています。また、行政手続のオンライン化を推進するため、県組織の部局横断による検討チームを設置し、可能な手続からオンライン化に取り組むための検討を実施しています。</p>		
【参考URL又は参考資料】	<p>みやぎ情報化推進ポリシー(2021～2024)</p> <p>https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho/digimpolicy.html</p>	
<p>●県有施設における施設利用予約のオンライン化</p> <p>県民等に幅広く利用されている県有施設10施設を対象として、オンラインによる施設利用予約を可能とするため、みやぎ電子申請サービスを利用できるシステム環境の整備を行いました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	<p>オンラインによる県有施設の利用予約申請を開始しました</p> <p>https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho/online-kenyushisetsu.html</p>	
<p>●県有施設における「みやぎFreeWi-fi」の整備</p> <p>平時には観光情報を、有事には災害情報を無料で提供できる「みやぎFreeWi-fi」を、県民等が多く来所する県有施設14施設(17アクセスポイント)に設置することで、県民等のデジタルデバイドの解消及び宮城のデジタル化を促進しました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	<p>みやぎ Free Wi-Fiポータルサイト</p> <p>https://www.pref.miyagi.jp/site/wi-fi/</p>	

(2) 働き方改革の推進

職員の働き方改革の推進		別冊 P14
<p>●ICTを活用した業務の生産性向上</p> <p>Web会議システムの専用パソコンを拡充し、令和3年4月1日から正式に運用を開始しました(R2利用実績:約3,800回)。また、液晶ディスプレイによるペーパーレス化の実証やペーパーレス会議システムの実証に向けた機器整備等を行いました(タブレット端末85台等)。さらに、16所属(本庁11、地方機関5)で、モデルとしてモバイルワークの効果検証を行いました。</p>		
<p>●Excelカイゼン隊による生産性向上と組織の全体最適化</p> <p>Excelマクロの技能を有する職員を公募し、Excelカイゼン隊として登録しました。隊員は各所属から寄せられたマクロの活用に関する相談に対応し、定型業務の自動化による業務の効率化と、人財の有効活用による組織の全体最適化を図りました。</p> <p>◆対応件数 10件</p>		
<p>●拡充した時差勤務制度を本格実施</p> <p>職員のワーク・ライフ・バランスの推進等を目的として、通常勤務時間(8:30～17:15)以外に6パターン(例:7:00～15:45, 10:00～18:45等)の勤務時間を職員が選択できる時差勤務制度を令和3年4月1日から本格的に実施しました。</p>		

会計事務の簡素化・効率化の推進

別冊 P15

●会計事務等の見直し

緊急事態宣言下での請求書への押印手続を見直すため財務規則を改正したほか、本庁給与担当職員の業務の適正化と効率化を図るために給与事務の改善を図りました。

関連する取組

●庁内電話料金の支出方法の見直し

令和4年度から庁内各課室における庁内電話料金の支出処理を無くし、管財課が一括して支出処理できるよう庁内電話料金の予算を管財課に集約化し支出業務の改善を図りました。

ワーク・エンゲイジメントの向上

別冊 P16

●職員のメンタルヘルス対策の実施

ワークエンゲイジメントを高めるためには、職員の健康増進が重要とされているため、メンタルヘルスセミナーを実施しました。また、ストレスチェックの結果を活用した職場環境改善のための仕組みを作り、試行しています。

3 人財育成とコンプライアンスの徹底

(1) 人財の育成

職員研修の充実・強化		別冊 P17
●東日本大震災の記憶と教訓の伝承と災害対応能力の向上を図る研修の実施		
東日本大震災の記憶と教訓の伝承と、それを踏まえた災害対応能力の向上が課題となっており、令和3年度、新たに主査級研修、主任主査級研修、班長研修において、災害対応業務に係る講義や演習を実施し、全階層での実施が実現しました。		
●官民協働ワークショップの開催		
株式会社七十七銀行と連携し、地方創生をテーマに、県職員と行員が年4回の講義やグループディスカッション等を通じて、地域の問題発見から解決策の企画立案発表まで行う研修を新たに実施しました。		
【参考URL又は参考資料】	官民協働ワークショップの成果発表会を開催！（記者発表資料） https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kouken/kanmin211119.html	

専門職員の知識・技術力向上		別冊 P19
●OJT監督者向け研修の拡充により「教える側」の体制を強化		
新任職員へのOJTを実践する中堅職員に対して、指導力の強化やサポート体制の充実化を図るため、中堅職員のリカレント研修を新設するとともに、さらに上司の管理職員向けにもOJT研修を拡大しました。		
●庁内イントラネットにおける自主学習コンテンツを拡充		
庁内イントラネットでは、研修計画やテキストなどの情報提供や各事務所が独自開催している職場研修を紹介する「土木部職員研修」のページを刷新し、より見やすく使いやすいコンテンツの充実化を図りました。また、コロナ禍において多数開催したオンライン研修の一部をYoutubeで限定公開するなど、職員が自主的に学習できる環境の整備を進めました。		
●スキルマップによる「業務に必要な能力の見える化」と新任職員育成の効率化		
土木技術職員として必要な知識・能力の「習熟度」と「経験度」を数値化した「スキルマップ」を活用し、新任職員の現状を「見える化」するとともに、上司が作成する「目標スキルマップ」との対比により、業務遂行に今必要とされる知識・能力の共通理解を深め、効率的な育成を図りました。		

政策立案能力の向上		別冊 P20
●政策提案コンテストの実施による新たな政策アイデアの発掘と職員の人材育成		
来年度に向けて、部局横断的に検討を進めている「女性定着」「少子化対策」「外国人受入」の3つのテーマを、政策提案コンテストの特定テーマとしても設定し、その課題解決に向けた提案を募集することで、政策立案過程への積極的な関与を促しました。 ◆提案数：29件（うち特定テーマ関連：19件）		

(2)コンプライアンスの徹底

内部統制システムの適切な運用		別冊 P21
<p>●内部統制の機能強化と適切な実施</p> <p>内部統制が適正に機能しているかを評価するプロセスであるモニタリングの取組を実施し、その結果、ミス防止に特に有効と思われる取組を選定の上、全庁に展開しました。また、令和2年度内部統制実施結果及び評価結果をとりまとめ、公表しました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	宮城県の内部統制に関する取組について	
	https://www.pref.miyagi.jp/site/gyoukaku/naibutousei-shisutemu.html	

(3)透明性と信頼の確保

情報公開の推進と行政文書の適正管理の徹底		別冊 P22
<p>●新総合文書システムの導入</p> <p>電子決裁機能を充実させた新しい総合文書システムを導入しました。今後、電子決裁を積極的に推進し、行政文書を電子的に適正管理するとともに、業務の生産性向上、ペーパーレスの促進、リモートワークへ対応していきます。</p> <p>◆令和3年12月電子決裁率 64.1%</p>		

多様な媒体を活用した広報の推進		別冊 P23
<p>●県ホームページのリニューアル、県の魅力情報を動画やWEBサイトで発信</p> <p>県公式ホームページを全面リニューアルし、より情報を探しやすく構成・デザインを見直すとともに、新たに魅力情報ポータルサイト等を開設したほか、ツイッターやインスタグラムなどのSNS連携を強化しました。また、特設サイト「みやぎ12人の侍ズ」を県ホームページに公開し、動画やオンラインイベントなどを通して、様々な魅力を総合・横断的に発信しました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	県公式ホームページをリニューアルします！（記者発表資料）	
	https://www.pref.miyagi.jp/documents/35624/shiryo4.pdf	
	「みやぎ12人の侍ズ」特設サイト	
	https://www.pref.miyagi.jp/site/miryoku/index.html	

県民意識調査等による県民ニーズの把握		別冊 P24
<p>●県民意識調査により県民の満足度の把握</p> <p>県が行う取組について、県民の満足度・重視度、復興の実感を聴き、その結果を基に計画の着実な推進を図るとともに、今後の県政運営に役立てるために実施しています。また、令和3年度からはインターネット回答を導入し、県民の利便性の向上を図りました。</p>		
【参考URL又は参考資料】	県民意識調査について	
	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/ishiki-gaiyou.html	

4 危機対応と震災の経験の継承

(1) 危機対応力の強化

防災体制の整備	別冊 P25
●原子力防災対応職員の育成に向けた新たな研修メニューの創設	
原子力災害時に避難住民や車両等の放射性物質の付着状況を検査する「避難退域時検査」等については、令和3年度から県庁内全部局の職員から検査要員を割り当てることとしました。この要員の育成のため、当該検査に係る新たな研修メニューを創設し、121人の職員が受講しました。	

地域と連携した学校防災体制の整備	別冊 P26
●地域と連携した学校防災体制を構築するため「学校防災アドバイザー」を派遣	
宮城県内の学校と地域が連携した学校防災の取組等を支援するため、教育庁内に相談窓口を設置するとともに、防災に係る専門的な知見が必要となる場合には、専門機関等から「学校防災アドバイザー」を学校に派遣しました。	
◆学校防災アドバイザー派遣実績 22回	
【参考URL又は参考資料】	学校防災の相談窓口設置に関するチラシ(公開資料)
	https://www.pref.miyagi.jp/documents/11087/845652_1.pdf

(2) 復興の完遂と経験の継承

震災復興に関する広報・啓発	別冊 P30
●みやぎ東日本大震災津波伝承館の開館と展示運営	
令和3年6月に石巻南浜津波復興祈念公園内に「みやぎ東日本大震災津波伝承館」を開館しました。「かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場」というコンセプトのもと、被災の状況や津波から尊い命を守るための教訓等をパネルや映像を用いて伝えます。	
【参考URL又は参考資料】	みやぎ東日本大震災津波伝承館
	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/densho/miyagi-denshokan.html